

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4150780015		
法人名	社会医療法人祐愛会		
事業所名	グループホームゆうあい		
所在地	佐賀県鹿島市大字高津原2962-1		
自己評価作成日	令和4年3月14日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和4年3月29日	外部評価確定日	令和4年5月12日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>法人基本方針にある「Aging in Place」住み慣れた地域で自分らしく最後までの実現を目指し、入居者が自由に、その人らしい生活が続けられるよう一人ひとりの笑顔を大切に支援しています。又、最期の看取りまで積極的に行っています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所「グループホームゆうあい」は、「ゆうあいビレッジ」の一角にあり、それぞれ「ゆうあい一丁目」「ゆうあい二丁目」「ゆうあい三丁目」と呼ばれている。緑の芝生、中庭、桜やモミジ、つつじ等の植栽があり、散歩コースが整備されている。利用者は、新鮮な空気の中で外気浴や散歩をしたり、周囲の風景を楽しむことができる。理事長の思いに職員も共感し、ゆったりとした空間の中で、利用者一人ひとりに合った支援を続けている。人としての尊厳を尊重し、思いや願いを大事にしながらの笑顔ある支援は、利用者から信頼を得ている。一日の生活リズムも、それぞれの利用者がこれまで暮らしてきた生活習慣に近い形での支援である。ケアに導入している「音楽療法」を利用者は楽しんでおり、一緒に歌を歌ったり、体を動かしたり、オルガンを弾く方もある。</p> <p>1月の初詣から12月のクリスマス会まで各月の年間行事や、誕生会も利用者の楽しみの一つである。協力医療機関での受診、健康診断、毎月2回の往診等、また、利用者や家族の意向で自然な形での最期の見送りまで支援している。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関やリビングなどにケア理念を掲示いつでも目に入るようにしている。 現在、コロナ禍にて、地域の方との交流ができておらず、新型コロナウイルス感染症が終息したら実践していく。	玄関やリビングなどにケア理念を掲示いつでも目に入るようにしている。 現在、コロナ禍にて、地域の方との交流ができておらず、新型コロナウイルス感染症が終息したら実践していく。	職員一人ひとりが大切にしていることを出し合い、法人の基本方針を踏まえての事業所独自の理念である。地域との交流も強く意識している。理念をいつも目につく所に掲示するだけでなく、毎日の引き継ぎや定例の会議でも、理念を意識しながら、実践につなげている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に地域の区長や民生委員に参加してもらっている。 以前は、近隣地域のお祭り参加や地域の消防団との防災訓練での交流など行ったり、ゆうあいフェアや秋祭りなどを開催し家族や地域の方と交流する機会を設けていたが、現在は新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。	運営推進会議に地域の区長や民生委員に参加してもらっている。 以前は、近隣地域のお祭り参加や地域の消防団との防災訓練での交流など行ったり、ゆうあいフェアや秋祭りなどを開催し家族や地域の方と交流する機会を設けていたが、現在は新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。	地元自治会にも加入し、普段から地域との交流がある。これまでは、職員も地域のホタル祭り等の行事に協力したり、自主的に事業所周辺の清掃活動をしている。機会を捉えて認知症理解のための活動もしている。現在は、コロナウイルス感染防止のために、以前のような付き合いは遠慮しているが、これまでのつながりが消えないように努力している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の中で地区の代表者については理解を求めており、認知症サポーター養成講座を開催するなどして、少しずつ地域の方に向けた活動ができていたが、新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。	運営推進会議の中で地区の代表者については理解を求めており、認知症サポーター養成講座を開催するなどして、少しずつ地域の方に向けた活動ができていたが、新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	ホームでの行事や取り組みを報 告し、頂いた意見を検討し実践し ている。現在は、新型コロナ感染 対策のため、紙面で各委員へ報 告し、内容を確認してもらい質問 や意見があれば連絡をもらうよう にしている。	ホームでの行事や取り組みを報 告し、頂いた意見を検討し実践し ている。現在は、新型コロナ感染 対策のため、紙面で各委員へ報 告し、内容を確認してもらい質問 や意見があれば連絡をもらうよう にしている。	年6回の開催予定であったが、 コロナウィルス感染防止のため、 保険者とも相談し、書面での報 告開催にしている。入居者の入 退状況、入居者の要介護度・年 齢構成・認知症自立度・障害自 立度等の報告、行事等の活動状 況も報告している。各委員から の意見や問い合わせ等はあつて いない。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取り組みを 積極的に伝えながら、協力関係を築くよう 取り組んでいる	運営推進会議開催のお知らせ や報告書を直接市の職員に手 渡しに行き、顔を合わせる機会 を持っている。	運営推進会議開催のお知らせ や報告書を直接市の職員に手 渡しに行き、顔を合わせる機会 を持っている。	運営推進会議時に顔を合わせる だけでなく、普段から地域包括 支援センターや保険者に定期的 に出向いたり、電話やメールで 相談や連絡を取り合うことも多 い。認知症サポーター養成講座 の講師依頼を引き受ける等、行 政との協力関係がとれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着 型サービス指定基準及び指定地域密着型 介護予防サービス指定基準における禁止 の対象となる具体的な行為」を正しく理解し ており、玄関の施錠を含めて身体拘束をし ないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会へ出席し、 定期的に勉強会を行い、身体拘 束廃止マニュアルに沿って身体 拘束ゼロに取り組んでいる。 玄関の施錠はしていない。	身体拘束廃止委員会へ出席し、 定期的に勉強会を行い、身体拘 束廃止マニュアルに沿って身体 拘束ゼロに取り組んでいる。 玄関の施錠はしていない。	事業所独自でも計画的に勉強会 を開き、拘束の無い支援認識を 深めている。身体拘束三原則 (切迫性、非代理性、一時性)を 満たさない限り、拘束を行わない ことを徹底しており、これまでに 身体拘束の事例はない。言葉に よる心理的な圧迫も無いように、 日常の言葉かけにも、常に留意 している。離床センサーや、眠り スキャンの使用については、家 族の了承を得ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等に ついて学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事 業所内での虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止についての研 修会を定期的におこない、マニ ュアルに沿って高齢者虐待防止に 努めている。 スピーチロックゼロの取り組みを 法人全体で取り組んでいる。	高齢者虐待防止についての研 修会を定期的におこない、マニ ュアルに沿って高齢者虐待防止に 努めている。 スピーチロックゼロの取り組みを 法人全体で取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会を実施している。必要があれば家族へ情報提供を行い活用できている。	勉強会を実施している。必要があれば家族へ情報提供を行い活用できている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	書面に添って説明を十分に行い、疑問点を尋ね、理解を得るようにしている。	書面に添って説明を十分に行い、疑問点を尋ね、理解を得るようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時やサービス担当者会議などの際に、家族の意見や不満などをゆっくり聴ける機会をもうけている。玄関に意見箱を設置している。	面会時やサービス担当者会議などの際に、家族の意見や不満などをゆっくり聴ける機会をもうけている。玄関に意見箱を設置している。	家族の訪問時に職員はにこやかに応対し、話しやすい雰囲気づくりを心がけている。今回のアンケートでも、質問に丁寧に応えてもらう、利用者の情報を職員皆が共有し細かい対応をしてもらう等の回答があり、家族の意見が運営に反映されている事が窺える。コロナ禍の中でも、ガラス越しやリモートでの顔が見える面会は、利用者の気持ちにも安定感をもたらしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、相談会を開催しており意見交換している。また、個人面談の機会を設け意見を聴いている。	毎月、相談会を開催しており意見交換している。また、個人面談の機会を設け意見を聴いている。	毎月の定例会議を相談会と位置付け、司会と進行も職員が交代で担当している。コロナ感染防止策の徹底、同一方向を向いての支援内容の共有、コロナ禍における行事の取り組み方等、様々な意見や要望が交わされている。ほとんどの職員が常勤で、年2回の個人面談を実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	働き方改革により残業を減らし有休休暇取得日数が増えている。半期毎に個人目標を設定し努力を評価し、就業内容などを総合的に評価している。	働き方改革により残業を減らし有休休暇取得日数が増えている。半期毎に個人目標を設定し努力を評価し、就業内容などを総合的に評価している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	経験年数により法人内コース研修を実施したり、全職員対象の研修会を行ったり、法人外研修への参加を促し内容によっては研修費の補助を行い学習への参加を促している。	経験年数により法人内コース研修を実施したり、全職員対象の研修会を行ったり、法人外研修への参加を促し内容によっては研修費の補助を行い学習への参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム交流会に参加し、情報交換や研修会をおこなっている。	地域のグループホーム交流会に参加し、情報交換や研修会をおこなっている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前より事前に訪問したり見学に来てもらうなどしたり、入居後も情報を元に深く関わり、表情などに気を配り入居者の事をより理解できるよう努めている。	入居前より事前に訪問したり見学に来てもらうなどしたり、入居後も情報を元に深く関わり、表情などに気を配り入居者の事をより理解できるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の苦労や不安を十分に聞く機会をもち、気持ちに寄り添えるよう努力をしている。	家族の苦労や不安を十分に聞く機会をもち、気持ちに寄り添えるよう努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	話す機会を十分に設け、求めに応じ安心して暮らせる事を伝え、受け止める努力をしている。必要があれば他のサービス事業所へ相談も行う。	話す機会を十分に設け、求めに応じ安心して暮らせる事を伝え、受け止める努力をしている。必要があれば他のサービス事業所へ相談も行う。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯、調理、趣味活動など生活を共に過ごし、できるだけ寄り添えるように努力している。	掃除、洗濯、調理、趣味活動など生活を共に過ごし、できるだけ寄り添えるように努力している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月々の行事予定をご案内したり日々の様子を写真と共にお伝えしたり、誕生日を一緒にお祝いしたり家族にも行事に参加してもらうなど家族とともに支援しているが、新型コロナウイルス感染対策のため、写真などでの実施報告が中心である。面会はガラス越しやリモートなど工夫して行っている。	月々の行事予定をご案内したり日々の様子を写真と共にお伝えしたり、誕生日を一緒にお祝いしたり家族にも行事に参加してもらうなど家族とともに支援しているが、新型コロナウイルス感染対策のため、写真などでの実施報告が中心である。面会はガラス越しやリモートなど工夫して行っている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方の家族にも日々の活動の様子を写真付きで送付したり、面会に来ていただいた時はゆっくり過ごしていただくように配慮したり、積極的に訪問したりしていたが、新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。遠方の方とは、オンラインで面会を行っている。又、家族との関係性が途切れないようには支援している。	遠方の家族にも日々の活動の様子を写真付きで送付したり、面会に来ていただいた時はゆっくり過ごしていただくように配慮したり、積極的に訪問したりしていたが、新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。遠方の方とは、オンラインで面会を行っている。又、家族との関係性が途切れないようには支援している。	コロナ禍の中ではあるが、工夫を重ねている。家族とは、リモートによる面会や窓越しの面会を実施し、家族との関係が疎遠にならないように配慮している。手紙や携帯電話での通話も支援している。以前は馴染みの美容室を利用していた利用者もいたが、現在はビレッジ内の理美容室での利用を支援している。看取り期に入った利用者には、家族や身内に面会をしてもらっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士同じテーブルにしたり、作業や活動をテーブルを囲んで出来るよう支援し、孤立する方がいないよう支援しているが新型コロナウイルス感染対策のため十分な実施できていない。	気の合う方同士同じテーブルにしたり、作業や活動をテーブルを囲んで出来るよう支援し、孤立する方がいないよう支援しているが新型コロナウイルス感染対策のため十分な実施できていない。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組みサービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	同じ敷地内の老健への入所の場合は面会に行き、積極的に訪問したりしている。	同じ敷地内の老健への入所の場合は面会に行き、積極的に訪問したりしている。	/	/

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中での会話や行動、以前の生活歴より本人の思いを把握して、支援できるよう努力している。	日々の生活の中での会話や行動、以前の生活歴より本人の思いを把握して、支援できるよう努力している。	利用者との信頼関係を築くことが前提である。職員自体の成長も願いながら、利用者の担当制を採っている。優しい言葉かけで、利用者の心に寄り添い、共感しながら話を聴いている。言葉の端々や独り言、つぶやき、表情やちょっとした行動の変化を見逃さず、思いを察している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に一人ひとりの生活史や生活歴を作成し、家族の面会時に尋ねたり、日々の会話を行う事でその時の様子をより詳しく知るよう努めている。	入居前に一人ひとりの生活史や生活歴を作成し、家族の面会時に尋ねたり、日々の会話を行う事でその時の様子をより詳しく知るよう努めている。	/	/
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	初回は、計画作成者がアセスメントを行い、その後はカンファレンスなど通して、本人の状況を全体で把握できるよう努めている。	初回は、計画作成者がアセスメントを行い、その後はカンファレンスなど通して、本人の状況を全体で把握できるよう努めている。	/	/
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なケアカンファレンス、担当者会議を行い、それぞれの意見をもとに介護計画を作成している。又、毎月、担当者によるモニタリングを行い、短期目標が切れる時には、計画作成者が総合的に評価を行っている。	定期的なケアカンファレンス、担当者会議を行い、それぞれの意見をもとに介護計画を作成している。又、毎月、担当者によるモニタリングを行い、短期目標が切れる時には、計画作成者が総合的に評価を行っている。	利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえて課題を分析し、総合的な支援の方針がたてられている。利用者の生活全般の解決すべき課題を的確に分析し、利用者主体の具体的で実現可能な計画が作成されている。担当者会議には、家族も出席している。計画の見直しは、定期的に、或いは状態変化に応じて、柔軟に見直されている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA()	自己評価／ユニットB()	外部評価 (評価機関記入欄)	
			(事業所記入欄) 実施状況	(事業所記入欄) 実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアプランに基づいた日々の記録が出来ており、ケアの実践、見直しに活かしている。	ケアプランに基づいた日々の記録が出来ており、ケアの実践、見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	他事業所へのレクリエーション参加、出張散髪の利用、自宅への外出などをおこなっているが新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。	他事業所へのレクリエーション参加、出張散髪の利用、自宅への外出などをおこなっているが新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の祭りに行ったり、ホームのイベントに高校生やボランティアに来てもらったりしていたが、新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。	地元の祭りに行ったり、ホームのイベントに高校生やボランティアに来てもらったりしていたが、新型コロナウイルス感染対策のため実施できていない。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からの専門医への受診の継続や必要時は本人、家族の希望に添って適切な医療が受けられるよう配慮している。月に2回訪問診療があり、医師との情報交換はできている。	入居前からの専門医への受診の継続や必要時は本人、家族の希望に添って適切な医療が受けられるよう配慮している。月に2回訪問診療があり、医師との情報交換はできている。	利用者及び家族が希望する病院での受診である。入居前から、協力医療機関で受診していた利用者がほとんどで、24時間何時でも相談ができる。月に2回のかかりつけ医からの往診もあり、入院も含めて、利用者の情報もしっかり確認できる。車椅子利用の方の受診もあり、事業所の車で送迎、付き添いの支援をしている。コロナの抗原検査の準備もできている。 家族は、健康面、医療面について安心感をもっている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を常勤配置している。日常の身体的変化を相談し、看護師は主治医へと報告、相談している。	看護職員を常勤配置している。日常の身体的変化を相談し、看護師は主治医へと報告、相談している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療機関との情報交換を行い、家族とも相談しながら適切な期間で退院できるように努めている。	医療機関との情報交換を行い、家族とも相談しながら適切な期間で退院できるように努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時には、当事業所の重度化した場合における対応に係る指針及び看取りに関する指針を説明している。又、その都度、本人や家族、主治医と相談しながら方針を決め、共有し支援に取り組んでいる。	入居時には、当事業所の重度化した場合における対応に係る指針及び看取りに関する指針を説明している。又、その都度、本人や家族、主治医と相談しながら方針を決め、共有し支援に取り組んでいる。	契約時に利用者や家族と看取りの指針を基にした丁寧な話し合いを行っている。理事長の基本的姿勢は「住み慣れた地域で、最後まで見守る」であり、家族の「自然な形で最期を」の意向を汲んで、看取り介護での安らかな最期を終えた利用者も多くなっている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練が出来ていないため、今後勉強会の計画、実施が必要。状態を把握し常に看護師とは連携を取り、報告は行っている。	定期的な訓練が出来ていないため、今後勉強会の計画、実施が必要。状態を把握し常に看護師とは連携を取り、報告は行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練と風水害訓練は地元消防団・消防署の協力により、定期的に行っていたが、現在は、新型コロナウイルス対策のため実施できていない。地震についても訓練が必要。	火災訓練と風水害訓練は地元消防団・消防署の協力により、定期的に行っていたが、現在は、新型コロナウイルス対策のため実施できていない。地震についても訓練が必要。	消防計画に基づき、年に2回、夜間の火災発生を想定した避難訓練を実施している。また、法人全体としての避難訓練も、年に3回以上実施している。地域との協力体制はできているが、本年度は、コロナウイルス感染防止のため、地域関係者の参加は見合わせている。事業所周辺の地形の特徴から、大雨時等のため池決壊による山津波対策を、地域や行政と共に練っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人の人格を踏まえ、入浴や排泄の時などプライバシーに配慮して言葉かけする時は近くに行って話しかけるよう心がけている。 一人ひとりに沿った言葉かけや援助を行っている。	個人の人格を踏まえ、入浴や排泄の時などプライバシーに配慮して言葉かけする時は近くに行って話しかけるよう心がけている。 一人ひとりに沿った言葉かけや援助を行っている。	利用者の尊厳の尊重は、すべての支援の基盤であり、事業所開設以来の大原則である。利用者のこれまでの人生経験を真摯に受け止め、支援に臨んでいる。 秘密保持、個人情報もきちんと守られている。個人写真の使用や居室入口の氏名使用についても、家族の承諾を得ている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その都度本人の思いや希望を尋ねたり、話しかけたりし本人の意思を表現できるようにしている。	その都度本人の思いや希望を尋ねたり、話しかけたりし本人の意思を表現できるようにしている。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その時々様子や希望に沿ってその日その日に合わせた支援ができるよう努めている。	その時々様子や希望に沿ってその日その日に合わせた支援ができるよう努めている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人用の化粧品を準備したり、髪染めをしたり、おしゃれしてお出かけしたり、その人らしい生活ができるよう支援している。	本人用の化粧品を準備したり、髪染めをしたり、おしゃれしてお出かけしたり、その人らしい生活ができるよう支援している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの能力に応じた食器拭きや片付けは行ってもらっているが、準備は行ってもらっていない。又、コロナ禍で、職員と一緒に食事はできていない。	それぞれの能力に応じた食器拭きや片付けは行ってもらっているが、準備は行ってもらっていない。又、コロナ禍で、職員と一緒に食事はできていない。	以前は台所で調理をしていたが、現在は法人の厨房で調理したものを注ぎ分けて配膳している。嗜好調査を献立に活かしている。行事食は利用者の楽しみでもある。利用者の健康状況等に合わせた献立や盛り付けでもある。ソフト食の方にも、食材の形が残る様な盛り付けをしている。 コロナ禍以前は職員も一緒に食事をしていたが、現在はさりげない見守りや食事介助で、感染防止に努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	管理栄養士と連携を図りながら、一人ひとりの状態に合わせて食事量にこだわらず、補助食や嗜好品をあわせて提供することにより、必要なカロリーや水分量が摂取できるよう支援している。	管理栄養士と連携を図りながら、一人ひとりの状態に合わせて食事量にこだわらず、補助食や嗜好品をあわせて提供することにより、必要なカロリーや水分量が摂取できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	法人内に歯科衛生士おり、定期的に口腔内の確認も行ってもらっている。口腔内の状態に合わせて、歯ブラシやスポンジ、口腔ウエットティッシュを使って、毎食後口腔ケアを行っている。必要に応じては、歯科の往診も行ってもらっている。	法人内に歯科衛生士おり、定期的に口腔内の確認も行ってもらっている。口腔内の状態に合わせて、歯ブラシやスポンジ、口腔ウエットティッシュを使って、毎食後口腔ケアを行っている。必要に応じては、歯科の往診も行ってもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を使用し、その人その人に合わせて支援することで、トイレで不安を与えることなく排泄でき、なるべくオムツを使用しないよう支援している。	排泄チェック表を使用し、その人その人に合わせて支援することで、トイレで不安を与えることなく排泄でき、なるべくオムツを使用しないよう支援している。	利用者一人ひとりの排泄パターンや習慣が把握されている、時間帯に合わせて早めに、或いは状況を察してのトイレ誘導である。誘導の際の言葉かけにも十分に留意しながら、できるだけトイレでの排泄ができるように支援している。紙パンツや尿取りパットの枚数を減らす工夫は、経費負担の軽減にもなっている。現在、布おむつを使用している利用者はいない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便状況を毎日チェックし、一人ひとりについて対応方法が決まっている。便秘傾向の方には水分摂取や運動を促している。	排便状況を毎日チェックし、一人ひとりについて対応方法が決まっている。便秘傾向の方には水分摂取や運動を促している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望があれば対応したり体調に合わせて入浴する日を調整したりしている。 トイレの失敗などがあれば、その都度入浴してもらうなど必要に応じて入浴を行っている。	希望があれば対応したり体調に合わせて入浴する日を調整したりしている。 トイレの失敗などがあれば、その都度入浴してもらうなど必要に応じて入浴を行っている。	一日おきの入浴を基本にしているが、その日以外に希望があれば応えている。時には入浴を敬遠する方もあり、翌日に入浴してもらったり、清拭で清潔を保っている。浴室には具体的な入浴支援方法が掲示してある。 身体的機能の衰えから、入浴に困難をきたす利用者もあり、リクライニング使用の入浴支援が間もなく導入される。利用者だけでなく、職員も身体負担が軽減すると思われる。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状況に合わせて眠りたい時に安心できる場所で休息できるよう支援している。	一人ひとりの状況に合わせて眠りたい時に安心できる場所で休息できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬ノートを活用したり、服薬管理表や熱型表、情報用紙などに記載し、一人ひとりの薬の内容を理解し、準備や介助時に日付や名前を確認し、確実に服用できるようにし、症状の変化が観察できるようにしている。	お薬ノートを活用したり、服薬管理表や熱型表、情報用紙などに記載し、一人ひとりの薬の内容を理解し、準備や介助時に日付や名前を確認し、確実に服用できるようにし、症状の変化が観察できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	花の手入れや家事に参加したり、趣味を活かしたり、好きなものを食べたり、天気の良い日は散歩や外出を行い楽しくすごせるように支援している。	花の手入れや家事に参加したり、趣味を活かしたり、好きなものを食べたり、天気の良い日は散歩や外出を行い楽しくすごせるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	敷地内を自由に散歩できたり、希望があれば家族と協力し自宅へ外出したり出来るようにしているが、新型コロナウイルス感染対策のため自宅への外出は実施できていない。	敷地内を自由に散歩できたり、希望があれば家族と協力し自宅へ外出したり出来るようにしているが、新型コロナウイルス感染対策のため自宅への外出は実施できていない。	広々としたビレッジ敷地内は、芝生や中庭、散歩コースが整備されている。ベンチも置いてある。天気を確認しながら、敷地内を散歩したり、外気浴をしている。万歩計を持っている利用者もいる。園内の桜や紅葉を楽しむこともできる。厨房まで一緒に食事を取りに行ったり、ゴミ捨てに同行する利用者もいる。コロナ禍以前は、外食、買い物、ドライブ、家族の協力を得ての一時帰宅等、日常的な支援が多かったが、現在は自粛している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時に確認を行っているが、現在は自己管理される方はおられずスタッフで管理している。	入居時に確認を行っているが、現在は自己管理される方はおられずスタッフで管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や贈り物が届くとお礼の電話をかけたたり、家族へ手紙を出せるよう支援している。	手紙や贈り物が届くとお礼の電話をかけたたり、家族へ手紙を出せるよう支援している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花や貼り絵を飾ったり写真を飾ったり、テレビの音やカーテンでの光の調整を行い心地よく過ごせるようにしている。	季節の花や貼り絵を飾ったり写真を飾ったり、テレビの音やカーテンでの光の調整を行い心地よく過ごせるようにしている。	利用者が思い思いに過ごす時間が多いリビングは自然の光が差し込んで明るくて、外からの騒音も全く聞こえない。テーブル、ソファ、畳が敷ける空間が効果的に配置されている。テレビを楽しんだり、早朝から新聞に目を通す利用者もある。室内全体の掃除が行き届き、清潔感がある。嫌な臭いも全く無い。日中は窓を開けての換気に努めている。利用者が触れる機会が多い手すりは、日に2～3回消毒をしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファに座ったり、気の合う方のテーブルへ自由に移動したり、促したりして落ち着いて過ごせるよう支援している。	ソファに座ったり、気の合う方のテーブルへ自由に移動したり、促したりして落ち着いて過ごせるよう支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際や面会時に家族と相談し、なじみの家具を配置し、写真や手紙、その方の作品などを飾り、居心地良く過ごせるよう工夫している。	入居の際や面会時に家族と相談し、なじみの家具を配置し、写真や手紙、その方の作品などを飾り、居心地良く過ごせるよう工夫している。	それぞれの居室が、その方らしく落ち着いて過ごせる場所になっている。そこには、家族の協力や職員の支援が感じとれる居室風景である。低床ベットを使用している利用者もある。使い慣れた物や馴染んできた品物の持ち込みに特に制限はない。家族写真、使い易い椅子、手鏡、誕生祝の色紙など色々な物がある。家族が猫が沢山掲載された雑誌を持っている猫好きな利用者もある。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりや介助バーを設置しており安全に移乗や移動出来るように工夫し、トイレや浴室など分かりやすく表示したり、日時や時計を見やすい所に設置することで理解し行動しやすいように支援している。	手すりや介助バーを設置しており安全に移乗や移動出来るように工夫し、トイレや浴室など分かりやすく表示したり、日時や時計を見やすい所に設置することで理解し行動しやすいように支援している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない